

ニューズレター雪氷北信越

No. 8 平成元年7月11日

日本雪氷学会北信越支部発行

目次

第2回総会および研究発表会・製品発表検討会報告／理事・幹事合同会議報告
／技術部会要項／技術部会・講演会・見学会・学習会案内

総 会

日本雪氷学会北信越支部元年度総会議事報告

平成元年6月3日(土)12時45分より、長岡技術科学大学A講義室において支部総会が開催された。中村支部長の挨拶の後、昭和63年度事業と決算が報告され(機関誌3号pp.27-29参照)、承認された。また、平成元年度事業計画案(下記理事・幹事合同会議報告参照)および予算案が示され、新たに提案された技術部会要項を含めて承認された。続いて役員選挙となり理事・監事が選出され、理事会にて互選された成元年度中村支部長より挨拶あった(名簿は次号に掲載予定)。最後に、1992年長岡にて、IGS(国際雪氷学会)シンポジウムが開催される予定であることが報告された。

なお総会当日に機関誌「雪氷北信越」第3号が参加者に配布された。研究発表会では14件の講演があり、また製品発表検討会では4件の発表があり、活発な議論が続けられた。その後、大学内別室にて懇親会が開かれた。

理事幹事会

平成元年度第1回理事・幹事合同会議報告

平成元年7月7日(金)16時より、国立防災科学技術センター長岡雪氷防災実験研究所にて、第1回理事・幹事会が開催された。まず、支部役員人選について審議し、人事移動等を考慮して顧問、評議員、理事、監事、幹事の役員名簿を確認した。次に、総会の議決に基づき、平成元年度事業計画の実行のための具体案を審議し、講演会を新潟地区、富山・石川地区で各1回、見学会を新潟地区で1回、富山・石川地区で2回開催することとなった。懸案の技術部会については、梅村理事より「屋根雪処理」の部会提案があり、2頁の要項にしたがって審議し、承認された。また、学習会は支部で10回程度企画し、小林(新潟)、対馬(富山)、高瀬(石川)、前田・杉森(福井)の各理事が担当することとした。講習会については、長岡で1回、黒部・富山で2～3回実施することとして、担当には、田村・川田・石坂・飯田の各幹事が当たることとなった。機関誌は、3号(6/3発行済)・4号を発行し、ニューズレターを隔月計6回発行することとした。ただし、今年度のニューズレターの発行日は、奇数月10日前後とする。なお、屋根雪処理技術部会、新潟地区講演会、富山・石川地区見学会、富山地区学習会の案内が本号に掲載されているのでご覧下さい。最後に、十日町市開催が提案されている平成2年度日本雪氷学会全国大会について審議し、支部として受諾する方向で検討し、関連各機関へ協力の依頼を行うこととした。

日本雪氷学会北信越支部 技術部会要項

〔目的と部会の結成〕

支部内における会員の研究開発活動を促進するため技術部会を設ける。技術部会は、主査がテーマを掲げ、主として会員の中から委員を募り、理事会の承認を得て結成するものとする。

〔構成と役割〕

委員約20名よりなり、内約半数を代表委員（特別会員、賛助会員等が派遣する委員）とし、残りを個人委員（正会員、学校・研究所等の研究者）とする。代表委員は主として技術開発上の問題を提示し、個人委員はその解決を助ける。

〔成果の扱い〕

技術部会で得られた成果は、委員各自が利用する。また、個々の成果の発表は、関係した委員の意向に従って行われる。

技術部会の終了した後は、得られた成果の内一般的事項を整理して、技術部会報告として公表する。

〔会費と期間〕

技術部会の期間は2年とし、必要に応じて1年以内の延長をすることができるものとする。それ以上の延長を要する場合は、一旦解散し、改めて発足するものとする。

代表委員と個人委員の会費については、主査がこれを取りまとめ、理事会の承認を得る。

〔会の運営〕

技術部会は年間4～6回開催し、委員は宿題の解決状況を報告すると共に、新たな問題点を整理し、主査は委員につぎの宿題を課す。

会は主査が統括し、必要に応じて幹事が補佐する。

〔会計〕

交通費、謝金など、運営に要する経費は技術部会会費及び支部助成金をあてる。会計は主査の責任で管理し、年度毎に理事会に収支決算を報告する。

技術部会

『屋根雪処理』技術部会
のお知らせと委員の募集

平成元年7月10日

日本雪氷学会北信越支部 支部長 中村勉

この度、支部総会において別紙の要項が決定され、これに従って、下記の技術部会を発足することとなりましたので、奮ってご参加下さいますようご案内致します。

ご希望の方は主査に直接連絡して下さい。なお、委員の数には制限を設けていますので、ご希望に添えない場合もありますが、その節はご容赦下さいますよう、予めお願いいたします。

記

技術部会名：屋根雪処理

研究 対象：屋根雪の融解および除去に関する技術

主 査：長岡技術科学大学教授 梅村晃由

〒940-21長岡市上富岡町1603-1

期 間：平成元年10月1日～平成3年9月30日（2年間）

会 費：代表委員年額5万円、個人委員無料

申込み期限：平成元年9月20日（水）

講演会

新潟地区講演会のお知らせ

屋根雪荷重の問題点について

講 師：ローナード・サック教授（オクラホマ大学土木・環境科学部長）

日 時：1989年7月24日（月）PM.3:00～5:00

（終了後、講師を囲んで懇親会を開催します。会費：3000円）

場 所：新潟県教職員互助会館『けさじろ荘』（定員80名）

長岡市今朝白1-10-275 Tel. (0258) 33-7400

問合先：新潟大学積雪地域災害研究センター 小林俊一 025-262-7052

長岡技術科学大学建設系 早川典生 0258-46-6000

ロナード・サック教授（1935年生まれ）は1964年ミネソタ大学でPh.D.をとり昨年アイダホ大学教授を経て、現在オクラホマ大学の土木・環境科学の学部長を務めている。昨年米国サンタバーバラで開催された第一回雪工学国際シンポジウム（WSE）の委員長をも務めた。サック教授は構造力学の専門者の立場から長年にわたって屋根上の雪荷重に関する風の効果と雪工学の問題に関する研究に携わってきた。今回は雪荷重に対する構造設計の問題の他に、北アメリカやカナダに於ける屋根雪の問題点について話して頂く。通訳には東北大学工学部建築学科の三橋博三先生にお願いしました。

見学会

富山・石川地区見学会のお知らせ

『富山の河川』見学会

日 程：平成元年8月7日（月） 神通川，常願寺川現地見学

8月8日（火） 庄 川，小矢部川現地見学

集合・解散：両日ともJR富山駅（北口）10：00・17：00

定 員：30名（先着順）

参 加 費：無料（昼食代は各自ご用意下さい）

申し込み：〒930富山市五福3190 または 〒920金沢市小立野2-40-20

富山大学理学部

金沢大学工学部

対馬勝年

高瀬信忠

（tel.0764-41-1271）

（tel.0762-61-2101）

へ電話か葉書でお申し込み下さい。（7月25日締切）

建設省北陸地方建設局富山工事事務所のご協力で、富山県の急流・緩流河川を見学いたします。日程は2日間ですが、1日だけの参加や途中下車も可能です。参加者には、詳細な現地視察行程時刻表と案内パンフレットが配布されます。ご案内は、富山工事事務所中谷 求副所長と中村徹立調査第一課長です。どうぞ、奮ってご参加下さい。

学習会

富山地区学習会の開催のお知らせ

降雪予測と雪情報システム

日時：平成元年9月6日（水）18時～20時

場所：富山大学理学部2号館2階 会議室

講師：日本気象協会 船田久之氏

問い合わせ先：富山大学理学部地球科学科雪氷学講座

対馬勝年 教授（0764-41-1271 内線2522）

その他

『ニューズレター雪氷北信越』について

雪氷学会北信越支部では、支部会員への事業の案内や報告のために、今年度は毎奇数月10日前後に、ニューズレターを発行いたします。原稿を、下記の書式（できるだけワープロ原稿）で毎奇数月5日までに事務局にお送り下さい。

※書式 幅16.5cm， 1行：33文字， 行数：制限は設けないが手短に

字間：2.5mm， 行間：5.4mm

ニューズレターに関するお問い合わせは

長岡技術科学大学建設系 小池俊雄 電話0258-46-6000 内線6124 まで